平成24年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年７月22日

上 場 会 社 名　第一稀元素化学工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4082　　ＵＲＬ　http://www.dkkk.co.jp
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　井上　　剛
問合せ先責任者　(役職名)　財務部長　　(氏名)　仁田　英策　　(TEL)06(6682)1261

四半期報告書提出予定日　平成23年７月29日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年３月期第１四半期の業績（平成23年３月21日～平成23年６月20日）

（１）経営成績（累計）　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第１四半期	8,243	68.3	470	△53.7	472	△54.4	289	△56.7
23年３月期第１四半期	4,899	71.8	1,015	343.1	1,036	300.5	667	324.8

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第１四半期	60.32	59.96
23年３月期第１四半期	139.69	138.67

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年３月期第１四半期	30,880	14,270	46.2	2,968.67
23年３月期	24,896	14,026	56.3	2,926.05

（参考）自己資本　　24年３月期第１四半期　14,257百万円　　23年３月期　14,010百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	－	15.00	－	15.00	30.00
24年３月期	－				
24年３月期(予想)		15.00	－	15.00	30.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成24年３月期の業績予想（平成23年３月21日～平成24年３月20日）

(%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	18,500	82.1	2,500	35.9	2,500	39.5	1,500	32.9	313.65
通　期	40,000	67.5	4,600	64.0	4,500	61.5	2,700	50.8	564.58

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、「添付資料」Ｐ．３「その他の情報」をご覧下さい）

（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の会計方針の変更　　：無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（３）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期１Ｑ	4,880,000株	23年3月期	4,880,000株
② 期末自己株式数	24年3月期１Ｑ	77,347株	23年3月期	91,847株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期１Ｑ	4,794,778株	23年3月期１Ｑ	4,780,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は「添付資料」Ｐ．３（３）業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
（３）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．補足情報 …… 9
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 9

１．当四半期の業績等に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期における世界経済は、欧州の財政問題、米国でのバランスシートの問題、新興国での物価上昇などの懸念材料があるものの、中国をはじめとする新興国の成長の恩恵から緩やかな回復基調が継続しました。国内経済は、東日本大震災の影響により投資マインド、消費マインドが大幅に悪化し、また計画停電の実施もあって生産活動が一時的に大きく落ち込みましたが、足元では持ち直しの動きが見られます。

当社の主要顧客であります自動車業界では、東日本大震災によってサプライチェーンが寸断したことから、国内メーカーを中心に全世界に減産などの影響が波及しましたが、その回復は予想以上に早く、世界全体での生産台数の落ち込みはそれほど大きくなかったものと推測されます。

このような状況の下、触媒用途における自動車排ガス浄化触媒材料の販売数量は、国内自動車メーカー向けが落ち込んだものの、他のメーカー向けでほぼカバーできたため、全体では若干の減少にとどまりました。しかしながら、売上高は前期の下半期に高騰したレアアース原料の値上がり分を販売価格へ転嫁したことから前年同期比で倍増しました。また、ファインセラミックス、電子材料・酸素センサー、その他の用途で着実に販売数量を伸ばし、売上高が増加しました。

一方、収益面では、今期に入ってもレアアース原料が高騰を続けておりますが、今期の価格上昇分の売価への転嫁は第２四半期以降となるため、当第１四半期の経常利益は前年同期比で大きく減益となりました。

これらの結果、当第１四半期の業績は、売上高8,243百万円（前年同期比68.3％増）、営業利益470百万円（前年同期比53.7％減）、経常利益472百万円（前年同期比54.4％減）、当四半期純利益289百万円（前年同期比56.7％減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末比5,984百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加（911百万円）、たな卸資産の増加（4,717百万円）、その他流動資産の減少（△565百万円）及び固定資産の増加（791百万円）等によるものであります。

当第１四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比5,740百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（1,653百万円）、短期借入金の増加（3,700百万円）、未払法人税等の減少（△498百万円）及び長期借入金の増加（517百万円）等によるものであります。

当第１四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末比129百万円増加し、2,382百万円となりました。なお、当第１四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期会計期間における営業活動の結果、使用した資金は3,429百万円となりました。主な支出は、たな卸資産の増加（△4,717百万円）、売上債権の増加（△662百万円）、法人税等の支払額（△602百万円）等によるものであります。

一方、主な収入は、仕入債務の増加（1,708百万円）及び税引前四半期純利益（468百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期会計期間における投資活動の結果、使用した資金は834百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得(△816百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期会計期間における財務活動の結果、得られた資金は4,399百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加（3,700百万円）、長期借入による収入（1,000百万円）、長期借入金の返済（△262百万円）及び配当金の支払（△67百万円）等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界経済は一時的な減速感があるものの、緩やかな回復基調が続くものと思われますが、欧州での財政問題、米国での雇用の減速や住宅販売の低迷、中国、東南アジア諸国の物価上昇とそれを受けた金融引き締めによる景気減速の懸念など不安材料が多く、予断を許さない状況にあります。また、国内経済も復興需要が期待されるものの、電力不足による生産活動への影響や政局の混迷などの不安材料を抱えています。

このような状況の下、当社製品の主要な原材料の一つでありますレアアースは、中国の資源囲い込み政策による供給不足や価格上昇が懸念され、さらに主原料であるジルコニウム原料の価格も上昇傾向にあるなど、予測は極めて困難な状況にあります。

従いまして、平成23年４月22日に公表いたしました平成24年３月期の第２四半期累計期間、および通期業績予想につきましては、原料の供給状況や価格動向の見通しが明確になるまで期初の予想を据え置くことにいたします。

２．その他の情報

（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第１四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ724千円減少し、税引前四半期純利益は5,015千円減少しております。

（３）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期会計期間末 （平成23年６月20日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成23年３月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,382,654	2,253,208
受取手形及び売掛金	6,386,179	5,475,122
製品	4,003,771	2,150,674
仕掛品	3,475,459	2,277,905
原材料及び貯蔵品	6,346,680	4,679,536
その他	1,267,065	1,832,814
貸倒引当金	△2,106	△1,906
流動資産合計	23,859,705	18,667,355
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,718,512	1,750,846
機械及び装置（純額）	2,369,070	2,212,001
土地	1,484,243	979,467
その他（純額）	736,416	540,786
有形固定資産合計	6,308,242	5,483,101
無形固定資産	178,161	180,218
投資その他の資産		
その他	534,258	565,529
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	534,254	565,525
固定資産合計	7,020,657	6,228,845
資産合計	30,880,362	24,896,200
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,085,020	2,431,827
短期借入金	7,200,000	3,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,200,668	980,708
未払法人税等	121,553	619,817
賞与引当金	125,340	240,528
その他	1,064,472	779,559
流動負債合計	13,797,054	8,552,440
固定負債		
長期借入金	2,478,456	1,960,708
その他	334,443	356,331
固定負債合計	2,812,899	2,317,039
負債合計	16,609,954	10,869,479

（単位：千円）

	当第１四半期会計期間末 （平成23年６月20日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成23年３月20日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,100	787,100
資本剰余金	1,203,629	1,197,854
利益剰余金	12,399,063	12,181,675
自己株式	△143,303	△170,168
株主資本合計	14,246,490	13,996,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,985	13,903
評価・換算差額等合計	10,985	13,903
新株予約権	12,932	16,354
純資産合計	14,270,408	14,026,720
負債純資産合計	30,880,362	24,896,200

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年３月21日 至　平成22年６月20日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年６月20日）
売上高	4,899,152	8,243,445
売上原価	3,331,647	7,220,289
売上総利益	1,567,505	1,023,156
販売費及び一般管理費	551,595	552,503
営業利益	1,015,909	470,653
営業外収益		
受取利息	2,564	133
受取配当金	2,665	5,481
仕入割引	－	13,132
為替差益	16,046	－
その他	6,784	9,190
営業外収益合計	28,060	27,937
営業外費用		
支払利息	7,483	13,269
為替差損	－	12,172
その他	223	168
営業外費用合計	7,707	25,610
経常利益	1,036,262	472,979
特別利益		
固定資産売却益	2,166	－
補助金収入	5,958	－
特別利益合計	8,124	－
特別損失		
固定資産除却損	－	214
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	4,290
特別損失合計	－	4,504
税引前四半期純利益	1,044,386	468,475
法人税、住民税及び事業税	323,842	111,354
法人税等調整額	52,829	67,909
法人税等合計	376,672	179,264
四半期純利益	667,714	289,210

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年３月21日 至　平成22年６月20日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年６月20日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,044,386	468,475
減価償却費	246,381	257,122
賞与引当金の増減額（△は減少）	△114,421	△115,188
前払年金費用の増減額（△は増加）	8,032	23,517
貸倒引当金の増減額（△は減少）	20	200
受取利息及び受取配当金	△5,229	△5,614
支払利息	7,483	13,269
為替差損益（△は益）	1,564	6,624
有形固定資産売却損益（△は益）	△2,166	－
有形固定資産除却損	－	214
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	4,290
売上債権の増減額（△は増加）	△86,187	△662,167
たな卸資産の増減額（△は増加）	△787,058	△4,717,795
未払又は未収消費税等の増減額	－	174,265
その他の資産の増減額（△は増加）	△66,759	－
仕入債務の増減額（△は減少）	886,964	1,708,375
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△103,718	△10,793
その他の負債の増減額（△は減少）	△71,091	－
その他	－	34,683
小計	958,200	△2,820,521
利息及び配当金の受取額	5,229	5,614
利息の支払額	△5,335	△12,494
法人税等の支払額	△794,334	△602,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,759	△3,429,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△250,142	△816,909
有形固定資産の売却による収入	8,075	－
無形固定資産の取得による支出	△3,826	△17,654
投資有価証券の取得による支出	△301	△299
貸付金の回収による収入	844	999
補助金の受取額	200,000	－
その他	△1,078	△210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,428	△834,074
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△50,000	3,700,000
長期借入れによる収入	－	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△156,162	△262,292
ストックオプションの行使による収入	－	29,217
配当金の支払額	△66,448	△67,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272,610	4,399,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,564	△6,624
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△156,844	129,446
現金及び現金同等物の期首残高	3,333,504	2,253,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,176,660	2,382,654

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

当第１四半期累計期間（自　平成23年３月21日　至　平成23年６月20日）

当社は、化学工業製品の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

当第１四半期会計期間より 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

（１）生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第１四半期会計期間の生産実績を単一セグメント内の区分に示すと、次のとおりであります。

区　分	当第１四半期会計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年６月20日）	前年同期比（％）
ジルコニウム化合物（千円）	8,200,671	279.6
その他（千円）	292,098	236.3
合計（千円）	8,492,769	277.8

（注）１．生産金額は実際原価に基づいて算出しております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
３．同一品目であっても複数の用途に用いられることもありますので、生産実績については用途別に示すことが困難であるため、その主要製法別に示すと、次のとおりであります。

製法別	当第１四半期会計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年６月20日）	前年同期比（％）
湿式工程品（千円）	7,983,213	295.5
乾式工程品（千円）	307,763	160.0
溶液品（千円）	121,634	140.9
セシウム品（千円）	80,158	105.2
合計（千円）	8,492,769	277.8

（注）１．生産金額は実際原価に基づいて算出しております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注の状況

当社は見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③販売実績

当第１四半期会計期間の販売実績を単一セグメント内の区分に示すと、次のとおりであります。

区　分	当第１四半期会計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年６月20日）	前年同期比（％）
ジルコニウム化合物（千円）	7,677,108	172.7
その他（千円）	566,337	125.1
合計（千円）	8,243,445	168.3

単一セグメント内の用途別販売実績

用途別	当第１四半期会計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年６月20日）	前年同期比（%）
触媒（千円）	6,088,017	204.5
ファインセラミックス（千円）	729,999	120.3
耐火物・ブレーキ材（千円）	635,258	100.3
電子材料・酸素センサー（千円）	486,680	109.7
その他（千円）	303,489	127.4
合計（千円）	8,243,445	168.3

（注）１．当第１四半期会計期間の主要な輸出先及び輸出販売高並びに割合は、次のとおりであります。
なお、（　　）内は総販売実績に対する輸出高の割合であります。

輸出先	当第１四半期会計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年６月20日）	割合（%）
欧州（千円）	1,928,806	37.8
北米（千円）	1,532,368	30.0
アジア（千円）	1,428,268	27.9
その他（千円）	221,654	4.3
合計（千円）	5,111,097 (62.0%)	100.0

２．当第１四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第１四半期会計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年６月20日）	割合（%）
BASF Catalysts LLC （千円）	880,780	10.7

３．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。